



第 2 回

吉備国際大学 植物保護シンポジウム

— 淡路ブランド野菜の品質向上に向けて —

昨今、農作物のブランド化や流通経路の多様化が急速に進むにつれ、競争力を持った農産物を生産・供給することが産地や生産者に強く求められる時代になりました。その中で、農産物の「安全性の管理」や「生産過程における防除」のあり方は、従来以上に、重要性を増してきています。本シンポジウムでは、レタスやタマネギなど、淡路ブランド野菜の病害虫防除を目指した公開講座(無料)を開催致します。生産者、消費者、食品加工・流通関係者各位多数のご来聴を歓迎致します。

日時 / 平成26年 7月22日[火] 13:00~16:40

場所 / 吉備国際大学地域創成農学部
南あわじ志知キャンパス 大講義室 (C棟3階)
南あわじ市志知佐礼尾370-1

話題および話題提供者

はじめに 植物保護の教育研究への取組 (13:00~13:10) 眞山 滋志 (吉備国際大学地域創成農学部長)

特別講演 植物検疫とその課題 (13:10~14:10) 阪村 基 (農林水産省神戸植物防疫所長)

農薬と食の安全・信頼 (14:10~15:10) 梅津 憲治 (吉備国際大学客員教授、東京農業大学客員教授)

— 農薬と食の安全性を科学的に考える —

..... 休 憩 (15:10~15:25)

病害の発生状況と防除対策

レタスおよびたまねぎの市場動向とJAあわじ島の課題 (15:25~15:50)

濱口 晴一 (JAあわじ島営農部長)

レタスビッグベイン病の新防除技術の開発に向けた今後の研究 (15:50~16:20)

西口 真嗣 (兵庫県立農林水産技術総合センター、病害虫部主席研究員)

平成26年産 たまねぎの生育・病害虫発生調査結果 (16:20~16:40)

遠矢 純子 (南淡路農業改良普及センター職員)

主催/吉備国際大学 共催/南あわじ市、JAあわじ島 後援/兵庫県淡路県民局

連絡先/吉備国際大学 地域連携センター TEL 0799-42-4708